

八戸学院野辺地西高等学校

おもしろくなければ野西じゃない



自分探し

野辺地西高校

校長 橋場 保人

八戸学院野辺地西高等学校は、下北、上十三、東青の三つの地域に隣接するところに位置しており、また広く青森市、弘前市、八戸市など県内三市からもたくさん生徒が入学し、常に時代が求める人材育成に力を注いで参りました。現在は、教養進学系、保育福祉系、産業技術系の三系列からなる「青森県唯一の私学総合学科高校」として存在しています。総合学科高校は、将来の「自分探しのため」の学校」とも言われており、本校では草木豊かな自然環境の中で、生徒が自分の個性や適性を発見し、将来の進路や生き方を学び、挑戦と失敗を繰り返しながら、柔軟に逞しく生きる力に身につけます。「面白くなければ野西じゃない!」全校生徒、全教職員がこの合い言葉のもとに面白いことを常に模索しながら、日々学校生活を送っています。特に、現在は、優れた

競技実績、指導実績を誇る指導陣によるスポーツ教育の実践(三十一年度、スポーツ進学系列始動)、さらに少子化に対応すべく個別指導重視のカリキュラム編成が可能な「総合学科」体制の充実(十一月、全国総合学科教育研究大会において熱気球クラブによる岩手県山田町への高校生被災地復興支援事業活動の発表)、そして本法人の大学、短期大学部との高大連携による五年、七年間の質の高い一貫教育の実践を掲げ、地域に愛され、地域とともに成長できる学校を目指しております。

CLOSE UP!

オンラインで English

教育改革に対応すべく世界に羽ばたける人材育成のためのグローバル教育の実践としてフィリピンの語学学校「CNE1」とのオンラインビデオ通話システムを活用したマンツーマンの英会話授業を行っています。



オンラインの英会話授業を行う 池嶺那さん

目標達成に向けて

野辺地西高校

1年 池 嶺那

私は総合学科、進学系列で学んでいます。HRが始まる前の朝学習や、フィリピンの先生とオンライン英会話レッスンを始めるなど、とても学習面が充実しています。わからない所は先生に聞けば教えてくれるので、しっかりと勉強ができています。

私は、将来助産師になるために、国立大学に入りたいと考えています。先生方は大学に入れるように指導してくださるので、私もすっかり頑張ろうと思っています。

野辺地西高校には「面白くなければ野西じゃない」というスローガンがあることが魅力だと思っています。学校生活をどうしようものにするかは自分次第なので、勉強をしっかりとし、毎日楽しく過ごし、充実した高校生活を送りたいと思います。

